



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 肇  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 鈴木 崇之 TEL 04-2938-1244  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,318	3.3	809	△10.5	874	△8.6	677	△18.3
2024年3月期第3四半期	20,632	6.2	904	169.4	956	168.2	829	198.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 774百万円(△18.1%) 2024年3月期第3四半期 945百万円(127.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	457.23	—
2024年3月期第3四半期	542.60	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,554	4,799	28.9
2024年3月期	15,597	4,153	26.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,786百万円 2024年3月期 4,139百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	3.2	1,070	3.5	1,120	4.1	870	0.5	586.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	1,686,154株	2024年3月期	1,686,154株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	202,997株	2024年3月期	204,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	1,482,232株	2024年3月期3Q	1,528,052株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要拡大により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東地域をめぐる情勢、米国新政権の政策動向、金融資本市場の変動等による国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料価格の高止まり、物流コストの高騰、円安進行といった外部要因の影響は続いているものの、インバウンド消費の増加により来店型店舗における包装資材需要は高まっております。手提袋を中心に紙製品事業は好調に推移いたしました。また、EC市場拡大と環境意識の高まりから、紙製宅配資材の販売も堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは2024年5月10日に第2次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、経営基盤強化のためのシステム刷新を実施したほか、生産設備や環境への投資を行い、グループ全体の収益性向上に向けた取り組みを強化してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,318百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益809百万円（前年同期比10.5%減）、経常利益874百万円（前年同期比8.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益677百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報等の注記」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用507百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ543百万円増加して11,757百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化施策を推進するも、原材料費や人件費のほか、生産設備の増強・維持更新に伴うコストが増加したことに加えて、在庫調整を実施したことにより粗利率が低下した結果、前年同期に比べ28百万円減少して1,030百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、環境意識の高まりから包装資材の脱プラ・紙化の流れが継続しているものの、インバウンド消費の増加により、売上高は前年同期に比べ116百万円増加して4,427百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、事業構造改革により黒字化は継続しているものの、人件費・物流費の増加の影響により、前年同期に比べ18百万円減少して117百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ25百万円増加して5,133百万円となりました。品目ごとの販売構成では、ギフト用品や販促品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、粗利益額が増加したことから、前年同期に比べ5百万円増加して170百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ956百万円増加して16,554百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が293百万円減少した一方、売掛金が1,145百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ855百万円増加の11,541百万円となりました。固定資産は、減価償却で197百万円減少した一方、設備投資等により230百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が122百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ101百万円増加の5,012百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ309百万円増加して11,754百万円となりました。これは、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が437百万円減少、短期借入金及び長期借入金が242百万円減少、未払法人税等が88百万円減少、賞与引当金が84百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が1,097百万円増加、繰延税金負債が116百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ646百万円増加して4,799百万円となりました。これは、剰余金の配当で133百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により677百万円増加、その他有価証券評価差額金が83百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の26.5%から28.9%になりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,582	2,288
受取手形	118	111
売掛金	4,169	5,314
電子記録債権	883	805
商品及び製品	2,205	2,350
仕掛品	324	217
原材料及び貯蔵品	263	299
その他	139	178
貸倒引当金	△1	△25
流動資産合計	10,686	11,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,638	4,720
減価償却累計額	△3,934	△3,985
建物及び構築物(純額)	704	735
機械装置及び運搬具	7,141	7,099
減価償却累計額	△6,461	△6,458
機械装置及び運搬具(純額)	680	640
土地	644	644
リース資産	561	566
減価償却累計額	△387	△417
リース資産(純額)	174	149
建設仮勘定	14	34
その他	446	449
減価償却累計額	△421	△428
その他(純額)	25	21
有形固定資産合計	2,243	2,224
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	2	1
その他	26	81
無形固定資産合計	44	98
投資その他の資産		
投資有価証券	1,965	2,054
差入保証金	107	106
退職給付に係る資産	487	485
繰延税金資産	43	38
その他	87	5
貸倒引当金	△67	△2
投資その他の資産合計	2,623	2,688
固定資産合計	4,911	5,012
資産合計	15,597	16,554

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,372	3,469
電子記録債務	3,292	2,844
短期借入金	1,352	1,220
リース債務	89	172
未払金	456	499
未払法人税等	175	86
未払消費税等	129	78
契約負債	32	4
賞与引当金	202	117
設備関係電子記録債務	12	23
設備関係未払金	30	7
その他	160	217
流動負債合計	8,306	8,742
固定負債		
長期借入金	2,075	1,964
リース債務	246	109
繰延税金負債	102	219
役員退職慰労引当金	43	45
退職給付に係る負債	671	673
固定負債合計	3,138	3,012
負債合計	11,444	11,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,241	1,242
利益剰余金	1,141	1,685
自己株式	△376	△373
株主資本合計	3,380	3,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	593
繰延ヘッジ損益	1	5
為替換算調整勘定	187	211
退職給付に係る調整累計額	59	46
その他の包括利益累計額合計	758	857
非支配株主持分	13	13
純資産合計	4,153	4,799
負債純資産合計	15,597	16,554

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	20,632	21,318
売上原価	16,475	17,058
売上総利益	4,157	4,259
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,686	1,733
給料及び手当	951	1,045
賞与引当金繰入額	59	62
退職給付費用	33	27
賃借料	98	104
旅費及び交通費	48	60
その他の経費	375	416
販売費及び一般管理費合計	3,253	3,449
営業利益	904	809
営業外収益		
受取配当金	36	45
持分法による投資利益	43	61
為替差益	7	—
受取賃貸料	17	22
その他	15	25
営業外収益合計	121	154
営業外費用		
支払利息	60	52
為替差損	—	7
その他	7	28
営業外費用合計	68	89
経常利益	956	874
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	14	58
助成金収入	0	—
特別利益合計	14	58
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	970	931
法人税、住民税及び事業税	149	168
法人税等調整額	△7	86
法人税等合計	141	254
四半期純利益	828	676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	829	677

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	828	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	83
繰延ヘッジ損益	△3	4
為替換算調整勘定	39	12
退職給付に係る調整額	△6	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	11	11
その他の包括利益合計	117	98
四半期包括利益	945	774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945	775
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更が前第3四半期連結財務諸表及び前連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	9,219	—	—	9,219	—	9,219
紙器	1,175	—	—	1,175	—	1,175
その他紙製品	818	—	—	818	—	818
ポリ袋	—	3,633	—	3,633	—	3,633
その他化成品	—	676	—	676	—	676
その他商品	—	—	5,108	5,108	—	5,108
顧客との契約から生じる 収益	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
外部顧客への売上高	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
セグメント利益	1,058	135	165	1,359	△455	904

(注) 1. セグメント利益の調整額△455百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	9,732	—	—	9,732	—	9,732
紙器	1,290	—	—	1,290	—	1,290
その他紙製品	733	—	—	733	—	733
ポリ袋	—	3,746	—	3,746	—	3,746
その他化成品	—	680	—	680	—	680
その他商品	—	—	5,133	5,133	—	5,133
顧客との契約から生じる 収益	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
外部顧客への売上高	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,757	4,427	5,133	21,318	—	21,318
セグメント利益	1,030	117	170	1,317	△507	809

(注) 1. セグメント利益の調整額△507百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	178百万円	197百万円